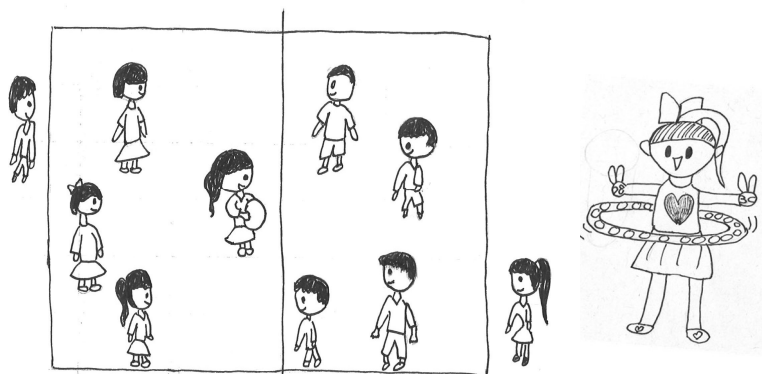


学童保育指導員（放課後児童支援員等）の資質向上のためのオンライン研修会

第47回

全国学童保育指導員学校東北会場

～保護者とともにあらためて「学童保育」を考える～



2022年7月10日(日)

10:30~16:15 (9:30 受付開始)

Web 会議アプリ「Zoom」を使用

学童保育は、「子どもたちの放課後を安全に集団の中でいきいきと成長させたい。そして安心して働きたい。」という親たちの切実な願いから生まれました。2021年5月現在、全国には3万4,447支援の単位の学童保育があり、130万7,699人の子どもたちが毎日生活しています。

2011年、東日本大震災と原発事故が起きました。その後も、豪雨による水害、度重なる地震など、自然の猛威による災害が続いています。東北各地では、指導員が子どもの命と心を守り、その後も子どもと保護者の生活と心を支え続けています。

2020年から続く新型コロナウイルス感染症の混乱は未だ終息が見えません。コロナ禍において、「学童保育は社会の機能を維持するために必要な事業」という認識や期待が広がると同時に、現行の制度の脆弱性が浮き彫りになっています。2015年に定められた「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」は、「地方分権改革」の動きのなか2020年4月より「従うべき基準」は参酌化されてしまいました。

子どもの命を守り、安全に安心して過ごせる継続的な「生活の場」を保障するために、また、高い専門性が求められる指導員が、専門職として自信と誇りをもって働き続けるために、ともに学び合いましょう。

主催 全国学童保育指導員学校東北会場実行委員会

全国学童保育連絡協議会

岩手県学童保育連絡協議会・宮城県学童保育連絡協議会

山形県学童保育連絡協議会・福島県学童クラブ連絡協議会

青森県学童保育連絡協議会準備会

協力 宮城県学童保育緊急支援プロジェクト

後援 (予定)

宮城県・仙台市・青森県・岩手県・秋田県・山形県・福島県 ほか 東北各自治体

東北のマスコミ各社

◆ 日 程

9:30 10:30 12:30 13:45 16:15

受付	全体会	休憩	講座
----	-----	----	----

◆ 全体会 10:30~12:30 (9:30~入室開始)

- 基調報告 全国学童保育連絡協議会
- 全体講義 『子どもとともに生きるために』
講師：杉田真衣 (東京都立大学)

【講師プロフィール】 1976年生まれ。東京都立大学人文社会学部教員。専門は教育学（ジェンダー・セクシュアリティと教育、青年論）。著書に『高卒女性の12年—不安定な労働、ゆるやかなつながり—』（大月書店、2015年）、共編著に『大人になる・社会をつくる—若者の貧困と学校・労働・家族』（明石書店、2020年）、『市民性を育てる生徒指導・進路指導』（大学図書出版、2020年）等がある。『日本の学童ほいく』2021年4月号~9月号講座「子どもと共にいまを生きる」を執筆。

◆ 講 座 13:45~16:15

基礎講座	<p>【講座1】 求められる学童保育指導員の役割 講師：高橋 誠（全国学童保育連絡協議会）</p> <p>「子ども・子育て支援新制度」において、それまでなかった学童保育の国の基準や「放課後児童クラブ運営指針」が策定されました。「放課後児童支援員」という資格も創設され、学童保育指導員には社会的責任を果たすことが求められています。この講座では、改めて「放課後児童クラブ運営指針」をもとに、子どもたちに安心して安全に過ごせる継続的な「生活の場」を保证するために必要な学童保育指導員の役割について学びます。</p>
	<p>【講座2】 学童保育の生活づくり~学童保育の生活とあそび~ 岩手県学童保育連絡協議会</p> <p>学童保育は生活の場です。またあそびは子どもたちにとって不可欠で、かけがえのないものです。子どもたちがより主体的に活動できる生活、あそび、指導員の働きかけなど参加者が意見交換しながら深めていきます。 報告者：横山明子（福島市指導員）</p>
実践交流	<p>【講座3】 保護者と指導員、よりよい信頼関係を築くために 山形県学童保育連絡協議会</p> <p>子どもの育ちを見守る保護者と指導員は、信頼関係を築くことが大切です。コロナ禍で子どものことをじっくりと語り合い伝え合う機会が限られるなか、繋がりを深め信頼を結ぶためには何が必要か、保護者、指導員それぞれの立場からの報告をもとに一緒に考えていきましょう。 報告者：三浦秀徳（山形市保護者OB） 佐藤奈央美（鶴岡市指導員）</p>
	<p>【講座4】 学童保育の「食」のひとつとき~「食」をとおして子どもの育ちをささえる~ 助言者：平本福子（宮城学院女子大学名誉教授・学童保育の「食」を考える会代表）</p> <p>生活の営みである「食」。学童保育での「食」にはどんな役割があり、どのように子どもたちの育ちを支えていくのか。子どもの最善の利益を考えながらみんなで語り合しましょう。</p>
講義	<p>【講座5】 発達障害児への理解と支援（作業療法の視点から） 講師：倉澤茂樹（福島県立医科大学）</p> <p>発達障害の子どもたちをどう捉え、どうかわりを持つのか。その理解と支援について、作業療法の視点から学びます。</p>
講義と交流	<p>【講座6】 子どもの心を支援する指導員の心のケア 講師：畑山みさ子（宮城学院女子大学名誉教授）</p> <p>コロナ禍がなかなか収束しない中で、東日本大震災を思い起こさせる大きな地震の再発や連日のウクライナ戦況報道など、子どもたちへの影響が懸念されます。ここでは子どもの心を支援する学童保育指導員が配慮すべきことと指導員自身の心のケアについて考えていきます。</p>
	<p>【講座7】 学童保育と指導員をめぐる情勢と課題 講師：千葉智生（全国学童保育連絡協議会）</p> <p>2020年4月より「従うべき基準」の指導員の資格と配置が参酌化されてしまいましたが、国の基準（省令）の内容は変わりません。また、新型コロナウイルス感染防止対応で学童保育の脆弱さもあらわになっています。自治体による格差が広がりかねない状況のなか、学童保育と指導員の質を確保するためにも、指導員の課題を確かめあい、運動の視点を学びあいます。</p>

◆ **受講料** 一人 2,500 円（税込）

【東日本大震災被災地からの参加者への受講支援】

東日本大震災で被害が大きかった、岩手県、宮城県、福島県の各地域からの受講者には、全国学童保育連絡協議会に寄せられた「東日本大震災 学童保育支援募金」から受講のための支援をします。詳細は各県の連絡協議会にお問合せください。

◆ **受講 オンライン**

全体会及び午後の講座ともに、Web 会議アプリ「Zoom」を使用します。

※ Zoom の URL ・ ミーティング ID ・ パスコードは、開催月になりましたらメールで送ります。

当日の資料冊子「受講のしおり」は、申込書にご記入いただいた送付先に郵送します。

◆ **定員** アクセス上限 400 端末（事前申し込み制、先着順）

申込みは先着順です。定員がありますので、お早めにお申込みください。

※午後の講座は第 2 希望までご記入ください。定員超過の際はご希望に沿えないこともあります。

◆ **申込み方法**

- 受講料（一人 2,500 円）を各県の指定口座に送金し、その控えのコピーと申込書をメールまたは FAX で送付してください。
- 1 台の端末（PC/タブレット）で複数の方に受講いただくことは可能です。
- 実践交流の講座（講座 2，講座 3，講座 4）を受講希望の方は、意見交流があるため、一人 1 台の端末での受講をお勧めします。

◆ **申込み先**

- **山形県学童保育連絡協議会** FAX：023-674-9783

Mail：ken-gakudou@bz04.plala.or.jp

受講料送金先：山形信用金庫 山形営業部 普通 0974757

山形県学童保育連絡協議会 会長 高木 直

- 振込手数料については各自負担になりますので、ご了承ください。

◆ **締切り**

- 6月17日（金）

- キャンセルは、6月24日（金）迄。

*キャンセル期限までにご連絡いただいた場合は、振込み手数料を引いて返金致します。

それ以降につきましては、「受講のしおり」の発送を以ってかえさせていただきます。

◆ **問合せ先**

研修内容：全国学童保育連絡協議会 03-3813-0477

申込み等：山形県学童保育連絡協議会 023-674-9782

ken-gakudou@bz04.plala.or.jp

◆ **お願い**

- 受講にあたり、事前に Zoom アプリのダウンロードをお願いします。
- 複数人で受講される場合は、できるだけ PC ・ タブレットをご使用ください。
- インターネット環境を安定させ、安心して受講できるよう、LAN ケーブルを使った有線接続をお奨めします。
- 受講時の不測の事態に備え、当日必ず連絡が付き連絡先をご記入ください。

第47回全国指導員学校・東北会場 申込書

氏名	フリガナ		立場	学童保育指導員（放課後児童支援員・補助員） 指導員経験年数： *1年未満の方は「1年未満」と記入 児童館職員・運営関係者・行政・議員 保護者(OB・OG含む)・その他（ ）		
	市区町村			受講	・全日 ・午前のみ ・午後のみ 個人 ・ 複数で受講（ 名）	
所属	クラブ名					
	その他の受講者名		所属クラブ名	立場（指導員は経験年数も記載）		
複数で 受講の 場合						
希望講座	第1希望（ ） 第2希望（ ）					
資料送付先住所 宛名	〒					
当日使う端末	パソコン ・ タブレット ・ スマートフォン			Zoom 利用経験	あり ・ なし	
当日使う端末のアドレス	（フリガナ）					
当日の連絡先	TEL： *当日必ず連絡がつく電話番号					
受講料	振込日： 月 日	振込み名義：				

- ※ ひとつの端末で複数名が受講する場合は、お一人のお名前で申込み、下段に一緒に受講する方のお名前などをご記入ください。記入欄が足りない場合は、別紙に記入して送ってください。
- ※ 当日使う端末のアドレスにフリガナをお願いします。「0」や「1」などは、数字かアルファベットかを見分けるのが難しい場合がありますので、ご協力よろしくをお願いします。
- ※ **当日は、こちらが指定する名前で入室していただきます。**後日、ZoomのID等と一緒に、ご記入いただいたアドレスにメールで連絡します。